

あけましておめでとう “水と緑の豊か



豊かな郷土
八潮市建設をめざして

八潮市議会議長
藤 波 米 郎

市民の皆様、新年あけましておめでとうございます。希望に満ちた新春を迎え、市民の皆様のご健勝ご繁栄を心からお祈り申し上げます。

八潮市も市制を施行して、早いもので本年一月十五日で満十年を迎えることになります。顧りますとこの間に、首都隣接という地理的要因により、急激な都市化への進展、人口の急増等さまざまな行政課題を抱えてまいりました。さらに、石油危機を始めとする多くの激動する社会情勢を市民の皆様のご協力により克服し、義務教育施設、道排水路の整備拡充及び区画整理事業の推進をはかつてまいりました。

今年も内外をとりまく経済情勢は、予断を許さぬ状況であります。自治体行政も財政緊縮により、なお一層の厳しさをまし行政運営は多事多難な年になることが予測されます。しかしながら、市政満十年を契機として市の将来展望を踏まえ、議会も市民の皆様の信託に応えるべく議員一同が新たな気概と時代に即応した柔軟な感覚を持ち、八潮市の現状を再認識するとともに今年を新たな飛躍元年とし議会と執行機関が相携手して山積する市民要望を解決し、豊かな郷土八潮建設をめざし鋭意努力を傾注する所存であります。

今後も市民の皆様の市政に対するより一層のご理解とご協力を賜りますようお願いいたしまして新年のごあいさつといたします。

ございます な八潮”をめざして



八潮市長
鈴木泰治

市民のみなさま、あけましておめでとうございます。こしも健康で幸多い一年でありますよう心からお祈りいたします。

みなさまの日頃市政に寄せられる大きな力により、一月十五日は市制施行後九十周年を迎えることになりました。意義ある年、十年を節目に、私は心をあらためて大きく飛躍できますよう努力を重ねたいとおもいますので、市民のみなさまの変わぬご支援ご協力をお願いいたします。

さて、迎えた本年も引きつづき国内外を問わず、地方自治体にとりましては多難な年であります。

地方の時代に即応した行政の推進をはかり、また行政改革にも取り組み、厳しい行財政の現実を乗り越えて住みよい、心豊かな八潮のまちづくりを市議会をはじめ、市民のみなさんと一緒にとなり進めて行かなければなりません。過去十年間歩み続けた市政は、八潮の将来に向つての方向づけの時代であり、本格的な首都近郊の都市づくりは、これからだと私は常日頃考えている次第です。現在、市行政の施策の一つ一つは昭和五十四年三月に策定された八潮市第二次総合振興計画基本構想に沿つて、環境整備、都市基盤づくりをはじめ、保健医療や福祉の充実、教育の向上や文化スポーツの振興、災害を防ぎ産業の発展のまちづくりなど必要施策の推進をはかつてあります。これはすべて究極的には十年前市制施行時に制定した市民憲章の理念に一日も早く到達することであり、第二次基本構想もこのための課題の解決や事業の推進が主体となっています。市民のみなさんと共に一体となり、前進すると同時に、幸多い一年でありますよう祈念し年頭のご挨拶といたします。

